

第3回 御前崎港港湾脱炭素化推進協議会 議事概要

日時：令和6年3月13日（水）13：30～15：00

場所：御前崎市御前崎地区センター 大研修室

開催形式：対面及びWebの併用

【議事概要】

○ヒアリング調査結果を踏まえたCO₂排出量の推計について

- ・事務局より、ヒアリング調査結果を踏まえたCO₂排出量の推計について説明した。

○御前崎港港湾脱炭素化推進計画の骨子案について

- ・事務局より、「港湾脱炭素化推進計画骨子案」について、記載の内容を説明した。
- ・事務局より、今後のスケジュールについて説明した。

○主な御意見

- ・記載されている藻場の面積について、0.29haと1.0haがあるが、その違いを説明した方がよい。
- ・本計画の対象範囲として地頭方漁港の漁港区域が対象範囲外としている一方で、久比生海岸の藻場は推計対象としているため、その位置を明確に示す必要がある。
- ・御前崎港港湾脱炭素化推進計画で公表される「促進事業」及び「将来構想」の記載イメージが重要と考えられる。
- ・ブルーカーボンの取組について、将来的な視点として、防波堤裏側に藻場の造成などの構想がイメージできるような記載が重要と考えられる。
- ・「KPI3：ブルーインフラの保全・再生・創出」の目標値について、取組を進めることを議論していくことが重要である。
- ・CO₂排出量の削減効果として、促進事業と貢献事業を合算して評価しているが、今後、削減目標達成に向けて貢献事業の位置付けが重要と考えられる。